

# 木造・木質化の効果

公益財団法人 日本住宅・木材技術センターの建物事例の調査資料をもとに記載



地域経済へ貢献  
職人を育てる  
森を未来へつなぐ



リラックス  
心地よさ  
モチベーション



湿度を調整  
消臭・抗菌  
ダニ防除



来訪者がふえる  
滞在時間がのびる  
就労者不足を解消



SDGs に寄与  
MLGs に寄与  
地球温暖化防止



免疫力アップ  
リフレッシュ  
疲労感を緩和



集中を助ける  
作業性 UP  
自然を知る・学ぶ



企業ブランド力 UP  
理念の PR 効果

森林は CO<sub>2</sub> を吸収し、固定しています。省エネ資材である木材や木質バイオマスの利用は、CO<sub>2</sub> 排出削減に寄与します。木材を建築物などに利用すると、炭素を長い期間貯蔵でき「都市等における第2の森林づくり」としてカーボンニュートラルへの貢献が期待されています。カーボンニュートラルのためには、「伐って、使って、植えて、育てる」という資源の循環利用を進め、新しい森を育てるとともに、木材利用を拡大することが有効です。

脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律（都市（まち）の木造化推進法）の概要  
～森林を活かした都市等のウッド・チェンジ～ ハンドブック ver.3 令和4年5月 林野庁 をもとに記載

## 「びわ湖材」利用のための補助制度



### 地域のモデルになるような公共性の高い民間施設等 への補助金

びわ湖材利用促進事業  
〈滋賀県〉

- 対象建物：1. 市町自ら設置もしくは市町が補助する施設でびわ湖材の利用について地域のモデルとなるような建物  
2. 民間企業、学校法人、社会福祉法人、医療法人等が設置する、不特定多数が木の良さに触れる公共性の高い民間施設、および市町等の整備計画や設置認可に基づいて整備される社会福祉施設

#### 新築・増築・改築・模様替え

※条件によっては上限額を2か年で申請できます

公共性の高い施設等を新築、増築、改築または模様替えするにあたって、その材料として使用される「びわ湖材」の購入費の一部を助成します。

補助上限額： 1 施設あたり 1,000 万円（木造化）  
1 施設あたり 500 万円（内装等木質化）  
補助率： 3 分の 2 以内

補助を受ける場合は原則として前年度の8月初旬までに、対象施設を所轄する各森林整備事務所に事前計画書を提出する必要があります。木製品・木の学習機の導入への補助もあります。詳細は各森林整備事務所へお問合せください。



### 住宅・店舗・事務所の 新築・リフォーム等 への助成

木の香る淡海の家推進事業  
〈県産木材活用推進協議会〉

対象建物：滋賀県内の住宅（新築、改築、増築）、店舗、事務所等

助成対象者：県内で建築業を営む事業者（工務店等）

#### 新設・改築・増築

びわ湖材の使用量  
7.5～15 m<sup>3</sup>未満 30 万円  
15～20 m<sup>3</sup>未満 40 万円  
20 m<sup>3</sup>以上 50 万円

#### リフォーム・耐震改修

びわ湖材の使用量  
1 m<sup>3</sup>あたり 3 千円  
1 戸当たりの上限額 20 万円

#### 木塀設置

びわ湖材の使用量  
1 m<sup>3</sup>あたり 5 千円  
1 戸当たりの上限額 30 万円

助成を受けるには申請が必要です。県産木材活用推進協議会へお問合せいただくか、滋賀県木材協会のホームページをご覧ください。



びわ湖材  
マーク

### びわ湖材とは？

滋賀県内の森林から合法性を確認して伐り出された原木およびその原木を加工した製材品等です。「びわ湖材産地証明制度」により認定を受けた木材業者・製材業者（認定事業者）が管理し、発行する「びわ湖材証明書」により証明しています。びわ湖材を使うことは、琵琶湖とその水源である森を活かし、守ることにつながります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2023 (R5) 1 月